

関西地区会例会 開催

令和6年2月14日、関西地区会(代表幹事：竹中勝昭/コンピューターマネジメント(株)代表取締役社長)がホテルグランヴィア大阪にて例会を開催した。参加者は40名。

冒頭、関西地区会代表幹事の竹中氏から「コロナの5類移行に伴い、活動が再開し始めた。懇親については積極的にやっていこうという方針で決めた。また、若手にも積極的に参加していただくような活動を目指していきたい。」と挨拶があった。続いて、JISA 長坂正彦副会長から「IT業界が大きな転換期を迎えている。JISAのコンセプトを実現していく段階に入っている。デジタル技術を発展するためには、我々自身が変わっていかなければならない」と挨拶があった。



竹中代表幹事 挨拶



続いて、JISA関連報告としてJISA副会長兼専務理事の宮本 武史氏から「失われた30年」と情報サービス産業～デジタル社会とは人が輝く社会」と題した講演があった。その後、近畿経済産業局 地域経済部次世代産業・情報政策課 統括係長 竹村氏から「近畿経済産業局におけるDX推進の取組について」と題した講演があった。講演では、中小企業におけるDX状況やデジタル化・DXの推進にかかる支援策等について説明があった。

最後に関西地区会事務局から令和5年度の活動と会計について報告があった。なお、例会後に懇親会が同会場に行われ、活発な交流が行われた。